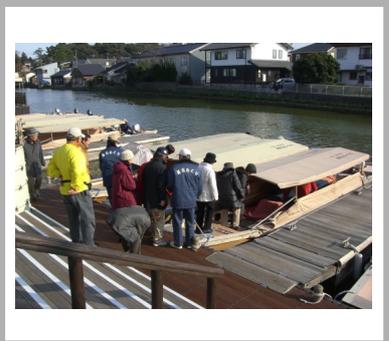
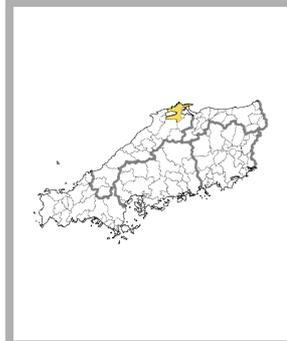


松江市(島根県):ぐるっと松江 堀川めぐり

城下町・松江の堀川遊覧の活況

人口	196,603 人	モード	旅客船
面積	530.21 km ²	法令	—
人口密度	370.80 人/km ²	運営主体	松江市観光開発公社



■ 取組の背景

地域と交通の状況

- 松江城の周囲を堀川が流れ、古い町並みを水路で廻る堀川遊覧船は、松江市の観光スポットとして欠かせない存在である。
- JR 松江駅から松江城までは 2km と近く、散歩コースの途中で遊覧船を観たり、乗下船することができる。

【観光振興の必要性】

活用メニュー(制度・協議会等)

- 運行当初(平成 9 年)に新造船購入した 15 隻中の 7 隻を松江市が購入した。それ以降は、独自事業として黒字経営を続けている。

【公的補助なし】

■ 実現したサービス

サービス内容

- 運航概要 年中無休で営業している。
安全第一のため、気象条件や航路の水位によりコースの変更や運休がある。
- 運航コース 人生経験豊かな船頭が観光案内し、全長 3.7km を約 45 分で一周する。
- 乗下船場 ふれあい広場、大手前広場、カラコロ広場で乗り降りができる。
- 所要間隔 最小 15 分～最大 20 分毎(冬季)に運航している。
- 運航時間

【観光客への対応】

区分	期間	始発	終発	間隔
通常期	3/1～6/30・9/1～10/20	9 時	17 時	15 分間隔
夏季	7/1～8/31	9 時	18 時	15 分間隔
秋季	10/21～11/30	9 時	16 時	15 分間隔
冬季	12/1～2/末日	9 時	16 時	20 分間隔

(平成 19 年 12 月から冬季運航時間を延長)

- 運賃

区分	大人(中学生以上)	小人(小学生)
一般	1,200 円	600 円
団体(20 人以上)	1,000 円	500 円
年間パスポート	3,400 円	1,700 円

(1日乗車券なので、当日何回でも乗り降りできる)

- 職員 船頭 105 人(うち女性 11 人)、事務管理 16 人、計 121 人(平均年齢 63.27 歳)

■ 効果と負担

効果

【利用者数の維持】

- 乗船実績は以下の通り。

表. 乗船実績

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
乗船実績(人)	338,106	319,324	314,053	319,894	332,622
運航日数(日)	360	356	353	351	363

- 平成 18 年度決算は、3,087 千円の黒字であった。

出典：松江市観光開発公社資料

負担

【公的補助なし】

- 市の負担はなし。

■ プロセスと調整

計画策定と会議実施

【プロセス:体制構築】

- 平成 8 年にポンプで宍道湖の水が堀川に流れるようになったことを受け、市長の強力な牽引のもとで遊覧船の就航構想が発表された。平成 8 年 5 月松江市経済部と都市建設部で協議が始まり、同年 7 月には庁内に「堀川遊覧推進会議」が設置され、11 回の会議を重ね、就航準備が進められた。

運行開始後のフォローアップ

【プロセス:フォローアップ】

- 営業開始前の堀川のごみ掃除と安全確認や遊覧コース沿いの土砂流失防止連杭の設置や季節の花を植えるなどの整備を行っている。
- 平成 10 年度から船に屋根やサイドカバーを取り付けたため、雨天時や降雪時にも運航が可能となり、年間を通じて安定的な就航が可能となった。

関係者との調整

【調整:対事業者】

- 近隣住民には景観に配慮してもらっているので、騒音防止や植栽手入れの手助けなどを行っている。
- 平成 19 年 7 月に開催した就航 10 周年記念式典において、町内会等へ感謝状を贈呈した。

■ 創意工夫・知見・教訓

ユニークなサービスを高齢者が担う

【創意工夫:運営の工夫】

- 船頭には、船や観光に興味のある 55 歳以上の高齢者を採用し、100 人以上が活躍している。
- 船頭や職員を対象に接遇向上をはかるため、外国語講座や緊急事態対応のため救急救命講座、バリアフリー講習会も定期的に開催している。
- 観光客が減少する冬期には、「こたつ船」の運航や「しじみ汁」「足湯・手湯」のサービスなどを実施し、好評を得ている。
- コース途中の橋のうち 4 ヶ所は屋根を畳まねばならないほど低いことが逆に魅力となっている。

住民への配慮

【教訓:住民・利用者理解の必要性】

- 近隣の町内会や住民への挨拶などは欠かせず、日々配慮して対応している。

■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：堀川遊覧船管理事務所 電話 0852-27-0417

松江市観光開発公社 電話 0852-25-0327

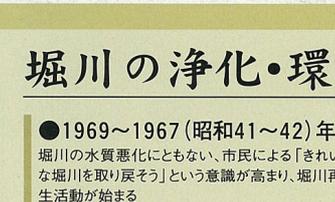
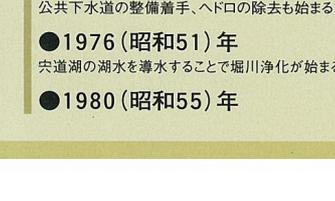
参考 URL：松江市「堀川遊覧船」 <http://www.city.matsue.shimane.jp/kankou/jp/yuran/index.htm>

■ 資料編

ぐるっと松江
堀川めぐり

History 10年の歩み

HORIKAWA RIVER
**堀川めぐり
10周年**

 <p>ぐるっと松江堀川めぐり就航</p>	<p>1997 (平成9)</p> <p>5 愛称を「ぐるっと松江堀川めぐり」に決定 7 ぐるっと松江堀川めぐり就航 8 乗船客1万人達成 11 冬季限定「こたつ船」を導入 ハイカラ明治フォトコンテスト</p>	 <p>ハイカラ明治フォトコンテスト</p>
 <p>大手前乗船場が開場、「屋根付き船」を導入</p>	<p>1998 (平成10)</p> <p>7 大手前乗船場が開場、「屋根付き船」を導入 船頭衣装ハッピー姿に一新</p>	
 <p>乗船客100万人達成</p>	<p>1999 (平成11)</p> <p>2 「毎日・地方自治大賞最優秀賞」に選ばれる 7 夏季限定「風鈴船」「夕涼み船」運航 9 敬老の日イベント「抹茶と和菓子」のサービスを開始 10 乗船客50万人達成 記念の花船運航 11 堀川ふれあい広場トイレ、日本トイレ協会が制定する「グッドトイレ10選」に入賞</p>	
 <p>演歌歌手、長山洋子さん「松江舟唄」を全国発売</p>	<p>2000 (平成12)</p> <p>2 乗船客に防寒用のベストの貸し出しサービスが始まる 9 建設省の「甦る水100選」に堀川が選ばれる</p>	
 <p>演歌歌手、長山洋子さん「松江舟唄」を全国発売</p>	<p>2001 (平成13)</p> <p>6 乗船客100万人達成</p>	
 <p>演歌歌手、長山洋子さん「松江舟唄」を全国発売</p>	<p>2002 (平成14)</p> <p>9 花嫁・花婿船が運航</p>	
 <p>演歌歌手、長山洋子さん「松江舟唄」を全国発売</p>	<p>2003 (平成15)</p> <p>4 日本観光協会の第10回「優秀観光地づくり賞」にて、全国初の「金賞国土交通大臣賞」と「国際観光賞」を松江市がダブル受賞 受賞に大きく貢献 10 「松江水燈路」での夜間運航</p>	
 <p>演歌歌手、長山洋子さん「松江舟唄」を全国発売</p>	<p>2004 (平成16)</p> <p>6 乗船客200万人達成</p>	
<p>演歌歌手、長山洋子さん「松江舟唄」を全国発売</p>	<p>2005 (平成17)</p> <p>8 乗船客に「堀川オリジナルうちわ」のサービスを開始</p>	
<p>演歌歌手、長山洋子さん「松江舟唄」を全国発売</p>	<p>2006 (平成18)</p> <p>1 冬季限定「足湯・しじみ汁」のサービスを開始 6 演歌歌手、長山洋子さん「松江舟唄」を全国発売</p>	
<p>演歌歌手、長山洋子さん「松江舟唄」を全国発売</p>	<p>2007 (平成19)</p> <p>4 松江開府400年祭オープニングイベントにて船行列 7 乗船客300万人達成</p>	

堀川の浄化・環境整備 市民の生活の場である堀川の浄化のための取り組み

- 1969～1967 (昭和41～42) 年
堀川の水質悪化にともない、市民による「きれいな堀川を取り戻そう」という意識が高まり、堀川再生活動が始まる
- 1972 (昭和47) 年
公共下水道の整備着手、ヘドロの除去も始まる
- 1976 (昭和51) 年
宍道湖の湖水を導水することで堀川浄化が始まる
- 1980 (昭和55) 年

- 松江青年会議所が「よみがえる堀川の会」を発足、遊覧船による堀川の有効活用を提案
- 1982 (昭和57) 年
堀川周辺下水道の供用開始
- 1986 (昭和61) 年
松江観光協会による堀川を活用するための堀川ポートを実施
- 1988 (昭和63) 年
堀川が建設省の「ふるさとの川モデル事業」に

- 指定される。
松江ライオンズクラブ、堀川へ錦鯉1000匹を放流
- 1993 (平成5) 年
堀川が建設省の「清流ルネッサンス21」に指定される
- 1996 (平成8) 年
末次ポンプ場が完成し、宍道湖の湖水が堀川全域に流れる。また、締切水門が撤去され船の航行が可能となる
このことが堀川遊覧船就航に向け大きな足掛かりとなる

参考文献：松江市観光白書より

図. 堀川めぐり 10年のあゆみ

出典：松江市観光開発公社資料

■ 資料編

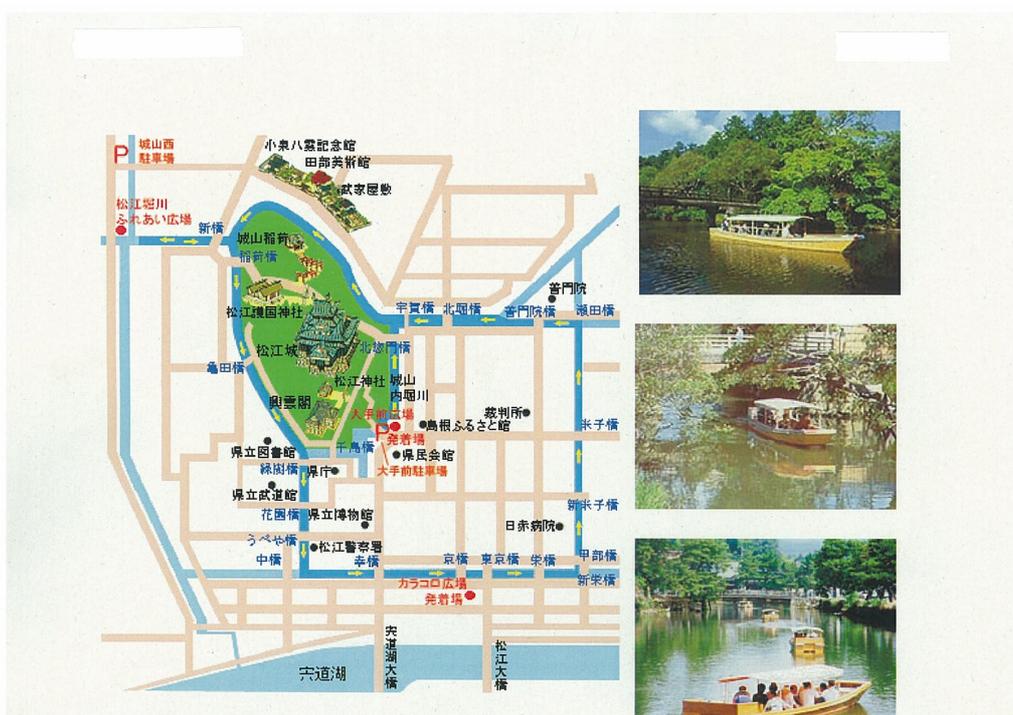


図. 堀川めぐりコース図

出典：松江市観光開発公社資料



図. 遊覧の遠景